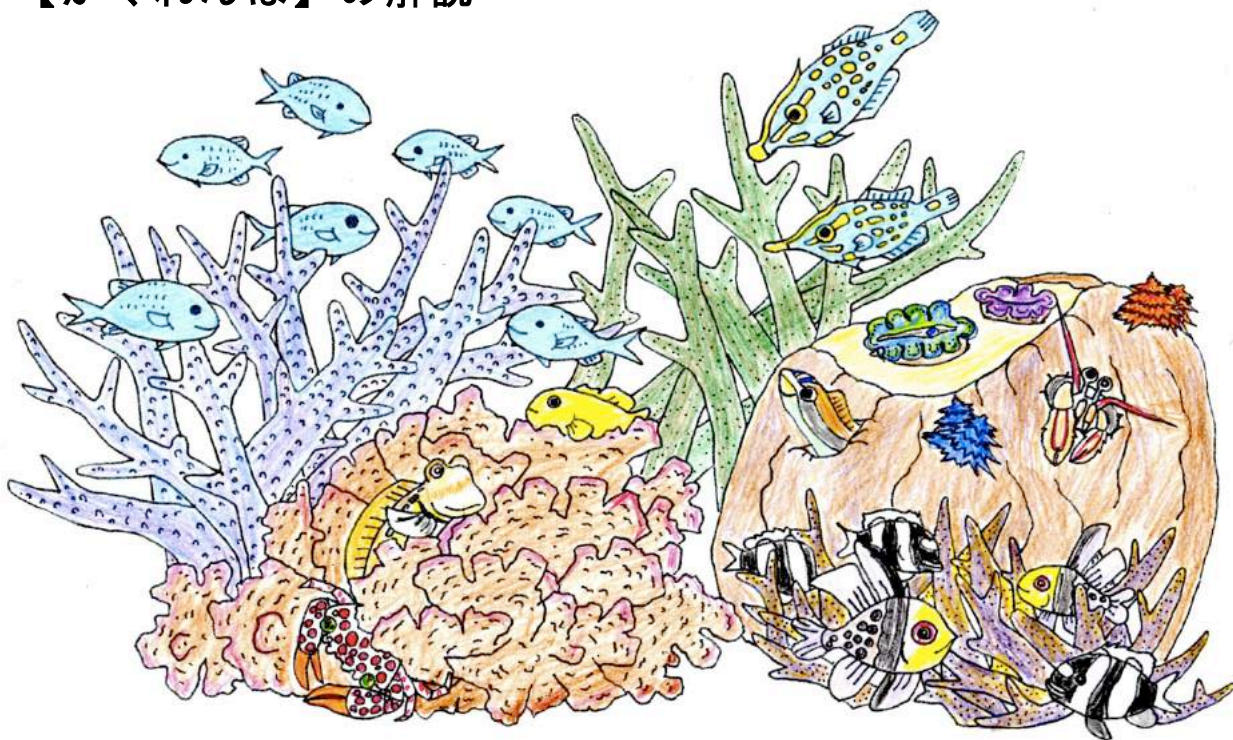




サンゴぬりえ②

【かくれんぼ】の解説

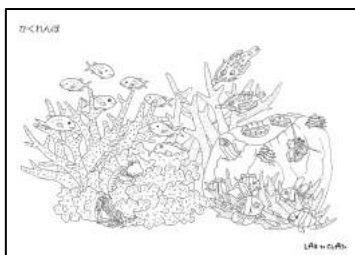


LAB to CLASS

◆テーマ

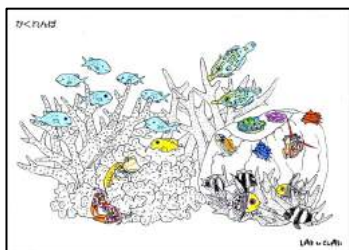
サンゴは、サンゴ礁域に生息する生物たちの隠れ家や住処になっています。複雑な形の枝サンゴは、小さな魚が身をひそめるのに好都合です。また、巨大な塊状（かいじょう）のサンゴに穴を開けて暮らす生きものもいます。山から木がなくなると生きものがいなくなるように、海のなかのサンゴが死んでしまうと、そこに暮らしていた生物も姿を消してしまいます。サンゴがつくり出す複雑な生息環境が、サンゴ礁生態系を維持するのに重要であることを学びます。

◎解説の例



◆絵の説明：サンゴを上手に使って暮らしている生きもの

サンゴの森にはいろいろな生きものが暮らしています。この絵には、サンゴを上手に使って生活している生きものたちが描かれています。どのような生きものがどのようにサンゴを利用しているのかな？じっくりと見ていきましょう。

**◆第一段階：いろいろな生きものを探してぬってみよう**

1) 枝サンゴの近くで泳いでいる小さな魚たち。ここなら大きな魚が近づいて来ても、さっとサンゴの間にかくれることができるので安全です。群れているのはデバスズメダイ。マンジュウイシモチとミスジリュウキュウスズメダイもいます。とんがった口のテングカワハギはいつも2匹一緒に泳いでいます。それぞれの魚はどんな色かな？調べてぬっていきましょう。

●デバスズメダイ／マンジュウイシモチ／ミスジリュウキュウスズメダイ／テングカワハギ

2) サンゴの枝の間にじっとかくれている魚やカニ、どこにいるかわかりますか？ サンゴの間にピッタリ収まっている水玉模様のカニは、アカホシサンゴガニ。サンゴの枝にちょこんとのっているのは、キイロサンゴハゼとカエルみみたいな顔をしたイシガキカエルウオ。名前から色を想像できますね。

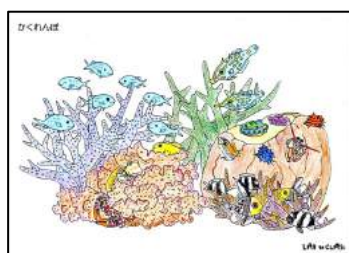
●アカホシサンゴガニ／キイロサンゴハゼ／イシガキカエルウオ

3) 生きているサンゴに穴をあけたり、潜り込んですんでいる生きものもいますよ。クリスマスツリーのような形をしたイバラカンザシ。シャコガイの仲間の、ヒメシャコガイ。どちらもとてもカラフルです。

●イバラカンザシ（ゴカイの仲間）／ヒメシャコガイ

4) イバラカンザシが死んでしまうと、すんでいた穴にはすぐに他の生きものが入り込みます。穴から顔だけ出して、にっこり微笑んでいる魚は、テungkロスジギンポ。小さなふたつのハサミを穴から出しているのは、カンザシヤドカリ。いい家が見つかってよかったね。

●テungkロスジギンポ／カンザシヤドカリ



魚、カニ、ヤドカリ、貝、ゴカイなど…多様な種類の生物がたくさん暮らしてるサンゴ礁。

◆第二段階：生きものが目立っているのは、なぜ？

5) サンゴがないと、色をぬった生きものたちは海のなかでよく目立っていますね。では、次に周りのサンゴをぬっていきましょう。青、紫、黄色、ピンク、茶色、カラフルなサンゴ礁に仕上げてみましょう。

◆まとめ：サンゴがいなくなったら…生きものの家は？！

サンゴ礁にはいろいろな種類の生きものがたくさん暮らしています。そのためにはそれぞれの生きものが食べるものや、すむ場所も必要ですよ。すむ場所がたくさんあれば、それだけ多くの種類の生きものが暮らせます。サンゴは固くていろいろな形をしているので、他の生きもののお家や隠れ場所にもなる、大切な生きものです。今サンゴの数はどんどん減ってきています。サンゴがいなくなってしまうたらここにすんでいる生きものたちはどうになってしまうでしょう？